

事業名称	姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業
団体名・代表者	認知症予防教室一輪会 代表者 田中孝史
協働の相手方	生涯現役推進室
目的	祖先から語り継ぎ、守ってきた郷土姫路の民話や日本のわらべ唄を次世代に伝承。 参加者の中から、有志による新しい語り部を育成。
内容	一般財団法人兵庫県学校厚生会発行の「ひょうごの民話」より資料を作成（利用許可済）。各地で語り部として活躍中の講師による読み聞かせと、日本のわらべ唄を参加者と共に楽しい時間を共有。
事業経過	2022年7月20日 市内校区老人会及び下部ブロック担当者（20組織）に相談 2022年8月17日 深志野公民館（女性12人、男性5人、包括1人） 2022年8月19日 余部団地集会所（女性14人、男性2人、包括1人、自治会1人、学生2人） 2022年8月20日 御国野公民館（女性23人、自治会1人） 2022年8月24日 四郷包括支援センター（女性14人、男性4人、包括1人） 2022年8月29日 国分寺集会所（女性17人、包括1人） 2022年8月30日 網干自治会館（女性18人、男性1人、包括1人、民生委員1人、学生2人） 2022年9月13日 坂上公民館（女性16人、男性3人、自治会2人、民生委員1人、学生2人） 2022年9月27日 高田集会所（女性22人、男性3人、包括1人、民生委員1人、学生2人） 2022年10月11日 和久公民館（女性12人、男性5人） 2022年10月22日 庄公民館（女性27人、男性11人、包括2人） 2022年10月27日 勝山自治会館（女性11人、男性7人、包括1人） 2022年10月30日 渡場自治会館（女性15人、男性7人、自治会2人、民生委員1人） 2022年11月6日 下太田集会所（女性13人、男性14人、自治会1人） 2022年11月10日 明田公民館（女性2人、男性4人、包括1人） 2022年11月21日 大谷公民館（女性14人、男性2人、包括1人） 2022年11月23日 山吹集会所（女性19人、男性5人、自治会1人） 2022年11月23日 代表者宅 事業終了会議（決算書、報告書等作成）
事業の効果	アンケート回答者の約半数の方が「ひめじの民話」を知らなかったが、約70%以上の方が「広めたい・子どもたちに伝えたい」と回答した。「わらべ唄」では、約3分の1から「子どもたちに伝承したい」、約半数から「サロン等で楽しみたい」と回答があった。自治会、民生委員、学生にも参加頂き、関心の高さを感じた。
今後の展望	出来れば、「姫路の民話の読み聞かせと日本のわらべ唄」をプログラムとしたサロン活動を広めていきたい。

#### 【実施団体の事業総括・感想等】

アンケートの回答者の約半数の方が「ひめじの民話」を知らなかったが、約70%以上の方が「広めたい・子どもたちに伝えたい」との回答。「自宅で音読してみたい」との回答が多いのは、やはり高齢社会と新型コロナ禍の影響だろうか。

当初、予定外で、要望が多かった日本のわらべ唄に関しては、配布資料を見ながらマスクを着用した上で、殆どの参加者と楽しく合唱する時間を共有できた。アンケートの「誰に伝えたいです

か？」には、約3分の1から「子どもたちに伝承したい」、約半数からは「サロン等で楽しみたい」との嬉しい回答が寄せられた。

今回の事業に関しては、地区の自治会長、民生委員や地域包括支援センター職員及び合計8人（4会場）の大学生も参加して頂き関心の深さを感じた。

出来れば地域高齢者の活動支援という意味合いを含めて「ひめじの民話の語り部」を作ってみたいと考えている。また「姫路の民話」「日本のわらべ唄」共に、多くの情報を頂き、新作の資料を作成して、今後の活動に活かしていく。

**【協働の相手となった所管課の感想等】** ※実施団体は記入しないでください

姫路の民話に触れる機会が少ない昨今、郷土姫路の民話や日本のわらべ唄を次世代へ伝えていく活動は貴重なものだと感じます。合わせて、高齢者の自立、外出促進、多世代交流の観点からも当室が推進している「生涯現役の実現」に沿ったものだと感じました。今後も益々ご活躍ください。